

第 7 回 旧北上川河口かわまちづくり検討会

今後の進め方等について



国土交通省 北上川下流河川事務所



石 巻 市

1 旧北上川河口かわまちづくりの今後の進め方

- 「検討会」でいただいた意見に基づき、工事を進捗させます。
- 来年度末で築堤工事が終了する予定のため、今回の「検討会」で、整備内容やデザイン等に関する議論は終了します。次回の「検討会」（来年度を予定）では、完成した状況をご確認いただく予定です。
- 細部の検討については、「地区別ワーキング」で進めます。
- 市民の皆さまに対しては、利活用や維持管理等に協働していただけるような取組みを、引き続き進めていきます。

《これまでの経緯と今後の予定》

地 区		平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
◆検討会 ・ ◆調整会議		◆ ◆ ◆		◆ ◆	◆ ◆ ◆	◆ ◆	◆ ◆	◆ ◆	▶ 1回開催予定
右岸	南浜・門脇2・3丁目地区		市民部会 ▼			市民部会 ▼		検討結果の報告	▶ 利活用等に向けた取組み
	中央・門脇1丁目地区		市民部会 ▼			市民部会 ▼		社会実験の実施・モニタリング	
	住吉・大橋地区		市民部会 ▼			市民部会 ▼	市民部会 ▼		▶ 利活用等に向けた取組み
左岸	川口・湊地区		市民部会 ▼		市民部会 ▼		利活用アンケート ▼		▶ 利活用等に向けた取組み
	不動・八幡地区		市民部会 ▼ ▼		市民部会 ▼				▶ 利活用等に向けた取組み
	藤巻・井内地区		市民部会 ▼ ▼			市民部会 ▼	市民部会 ▼		▶ 利活用等に向けた取組み

2 利活用の現状

①中央地区堤防一体空間 都市・地域再生等利用区域の指定に向けた社会実験

新しく創出される水辺空間を活用していくために、平成29年11月から平成30年6月にかけて「旧北上川堤防利活用勉強会」を4回開催。その後、平成30年12月から「旧北上川堤防利活用協議会」を発足させ、交流人口の増加、周辺商店街の活性化等を目的とした、中央地区堤防一体空間の多目的利用について検討を進めてきた。

令和元年8月からは、中央地区堤防一体空間の「都市・地域再生等利用区域」の指定に向けて、商業活動やイベントの開催等の社会実験を行っている。

〈旧北上川堤防利活用協議会 参加団体等〉

網地島ライン、石巻商工会議所、石巻観光協会、ISHINOMAKI2.0、元気いしのまき、仲町第三親和会、橋通り会、街づくりまんぼう、みらいサポート石巻
石巻専修大学、東北大学
宮城県石巻港湾事務所、北上川下流河川事務所、石巻市

令和元年
8月18日(日)
プレオープン



令和元年
10月6日(日)
元気さんま祭り



②離島航路

平成30年12月より、「中央発着所」の供用を開始。現在1日8便(4往復)が発着している。

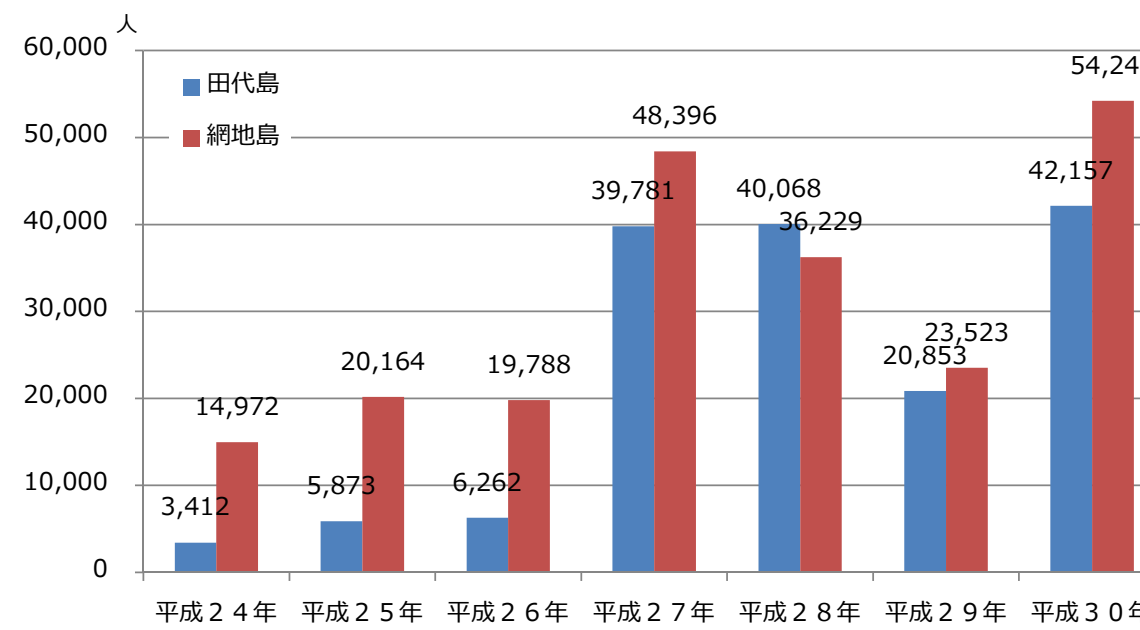


中央発着所の状況



待合場所になっている四阿

参考：田代島・網地島の観光客年間入込数



資料：石巻市統計情報

③川開き祭り

「第96回石巻川開き祭り」が、令和元年7月31日（水）、8月1日（木）の2日間開催され、旧北上川を利用した孫兵衛船競漕、流灯や花火等が行われた。

花火大会で旧北上川堤防に用意した有料観覧席500席はほぼ完売した。実行委は堤防整備の進展に合わせ、来年以降、有料席の増設など堤防の観覧場所としての活用拡大を検討する。*

※石巻かほく 8/3 記事より

■「第96回石巻川開き祭り」来場者・参加者数

内容	来場者・参加者	昨年との比較
2日間合計	19万4,000人	昨年比6,000人増
孫兵衛船競漕	一般：45チーム ミニ：16チーム	一般：1チーム減 ミニ：昨年と同数
流灯・供養花火（7月31日（水））	1万2,000人	昨年比1,000人増
花火大会（8月1日（木））	10万8,000人	昨年比8,000人増 有料観覧席500席はほぼ完売



孫兵衛船競漕の出艇場所（不動町地区）
・仮設の棧橋を設置



孫兵衛船競漕の待機・応援（不動町地区）
・テラス空間上にタープ TENT 等を設置



流灯・供養花火（中央地区堤防一体空間）



花火大会（中央地区堤防一体空間）
・有料観覧席

④北上川フェア

令和元年8月18日（日）、河川への親しみと理解を深めてもらう「北上川フェア2019」を、中瀬公園で開催。カヌー体験、おもちゃの船作り体験、フリーマーケットなどがあり、特設ステージではバンド演奏やフラダンスなどが披露され、祭りを盛り上げていた。

- ・日時：令和元年8月18日（日）10:00～15:00
- ・会場：石巻中瀬公園



フェア会場の状況



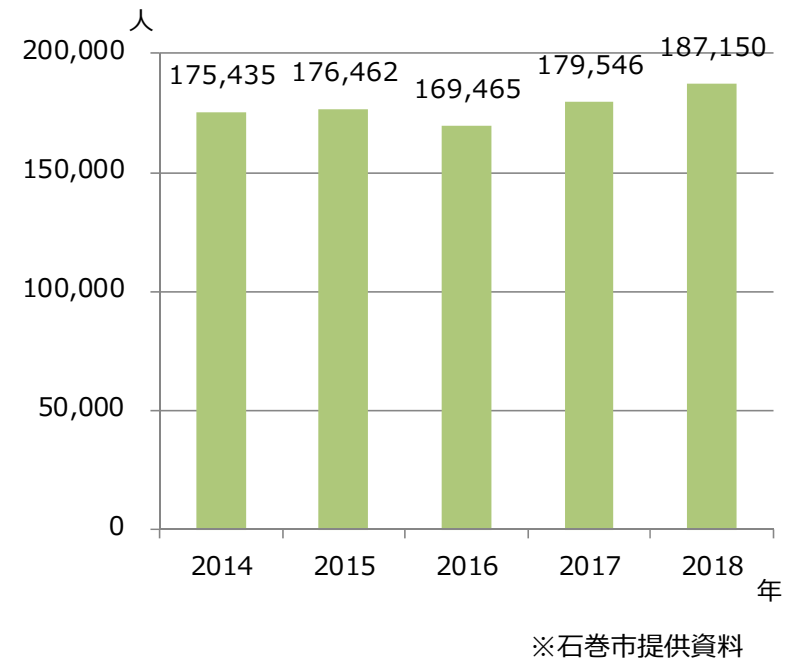
かわまちリパークルーズ



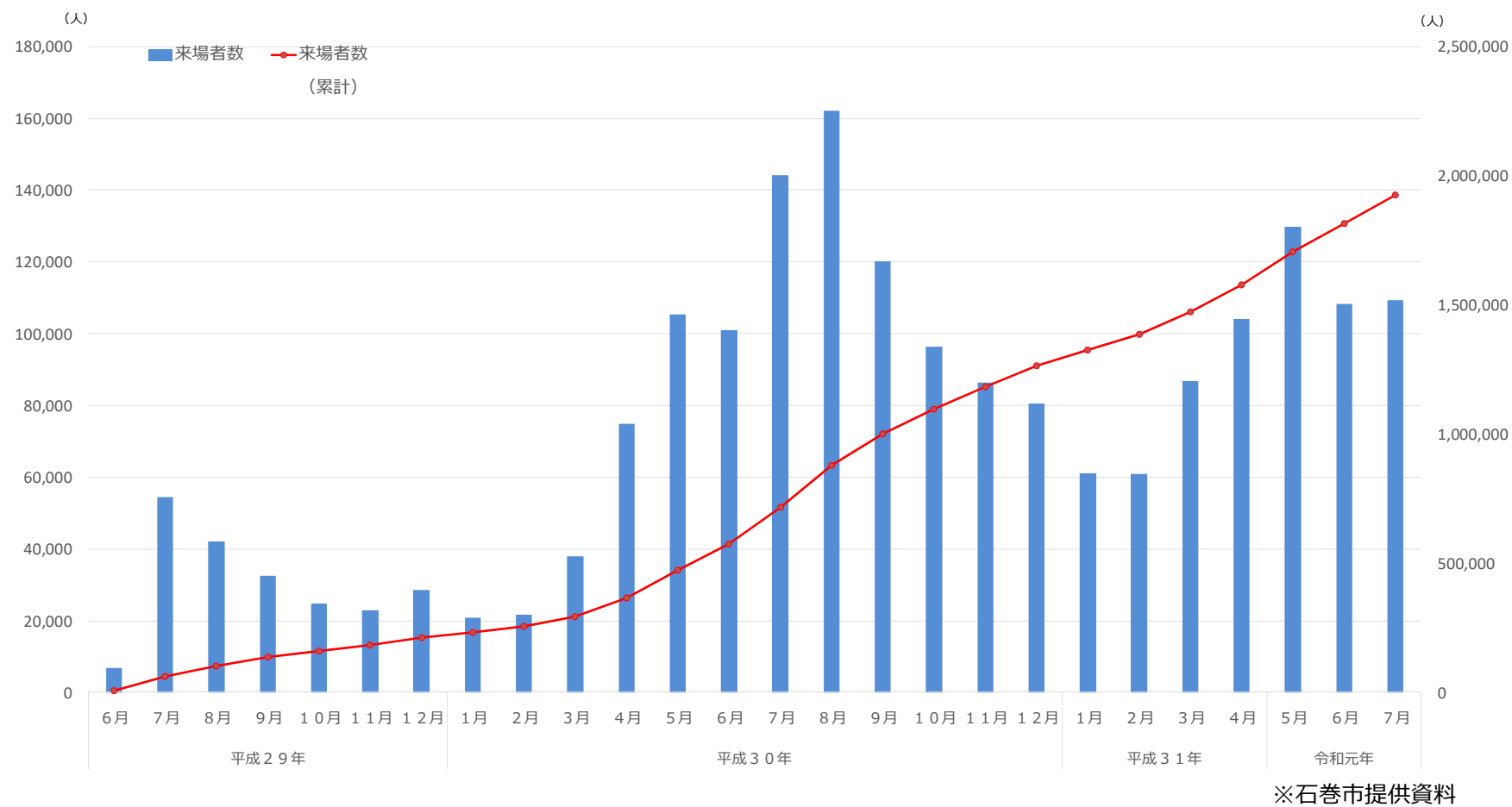
VRで旧北上川の現在・未来を見てみよう！
（2019リバイブいしのまき（同時開催））

参考：周辺施設の入込み状況等

①「石ノ森萬画館」来館者数の推移



③「いしのまき元気いちば」来場者数の推移

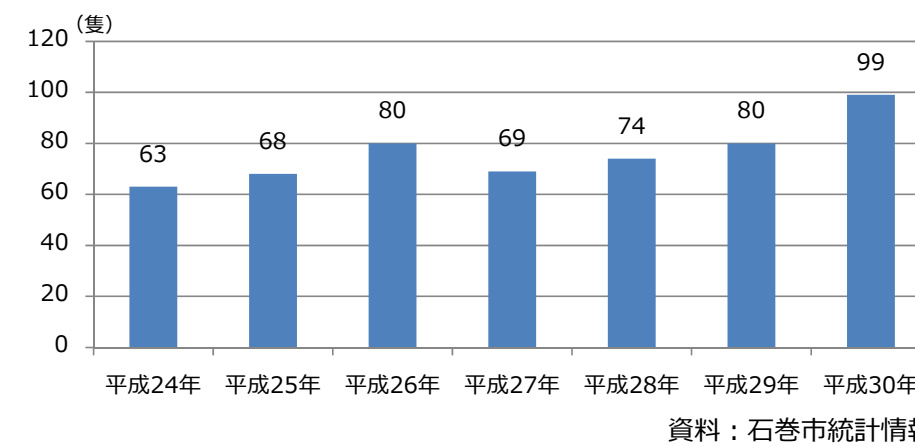


②石巻港への「大型客船」寄港数（2019年）

No	入港日時	船舶	寄港場所	定員	全長	総トン数
1	平成31年4月12日(金) 入港：午前10時 出航：午後6時	ダイヤモンド・プリンセス (外国客船)	雲雀野中央ふ頭	2,706名	290m	115,875t
2	令和元年7月28日(日) 入港：午前10時 出航：午後6時	ダイヤモンド・プリンセス (外国客船)	雲雀野中央ふ頭	2,706名	290m	115,875t
3	令和元年8月21日(水) 入港：午前7時半 出航：午後9時	オーシャンドリーム (外国客船)	雲雀野中央ふ頭	1,422名	205m	35,265t
4	令和元年9月21日(土) 入港：午後0時半 出航：午後9時	ぱしふいっくびいなす	大手ふ頭	620名	183.4m	26,594t

石巻市 HP 等より

参考：石巻港入港船舶数（10,000総トン以上）



大漁旗を掲げてお出迎え

石巻市 HP より



市内の散策に向かう乗船客

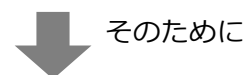
石巻市 HP より

3 今後の課題と取組みについて

① 利活用について

【今後の課題】

- ・ 市民の方々に、より活発に利用していただく
- ・ 地区の行事やイベント等で活用していただく
- ・ 利用に関するルール・マナー（緩やかな縛り）等を決める 等



【取組み（例）】

● 市民に参加いただけるミニイベント・地区行事等の実施

- ⇒ 気軽にできることを、実施してみる。
- ⇒ 完成している区間で河川空間の利活用を体験して、利用イメージを膨らませていただく。
- ⇒ 利用に関するルール・マナー等について、考えていただくきっかけとする。

● 幅広いエリアでの利活用を想定した、話し合いの場を設ける

- ⇒ 中瀬や復興祈念公園等と連携した、幅広いエリアでの連携について検討を進める。
- ⇒ 活動団体等と連携し、話し合い（情報交換）の場を設ける。

● 広報の工夫

- ⇒ 利活用できることを、積極的にPRする（利活用に関するアンケートを幅広く実施する）。
- ⇒ 上記ミニイベントの結果等も活用して、広報する。



例①：川遊び教室

川での遊び方や川遊びの魅力を知ってもらうとともに、川の危険性についても学んでもらうことで、川テラスを日常的にかつ安全に利用してもらえるようにする。



例②：水際のベンチづくり

お気に入りの景観を眺められる場所に座面（井内石の平板等）を置いてもらい、愛着を持って日常的に利用してもらえる場所にする。



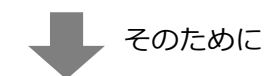
例③：上空から川を眺める ドローン教室

ドローンを使って、上空から旧北上川の撮影体験をすることで、故郷の川を知り、川への愛着を深めてもらえるようにする。

② 維持管理について

【今後の課題】

- ・ 堤防等の河川施設の維持管理（除草・補修等）、巡視・点検 … 河川管理者（国）で対応
- ・ 拠点、広場、テラス空間等の日常の美化活動 等



【取組み（例）】

● 市民と協働した美化活動の仕組みづくり

● 沿川企業との連携

● 学校の学習教材、大学の研究場所としての活用

- ⇒ 地区ごとにリーダーやグループを発掘する。
- ⇒ 学校・大学、民間企業、活動団体等へPR、ヒアリング等を行っていく。



例④：花壇づくりワークショップ

可能な個所に法尻花壇づくりの試行を行い、全川的な法尻花壇整備への展開、意識づくりを行う。



例⑤：地域協働型美化活動の仕組みづくり

学校・大学、民間企業、活動団体等と連携して、沿線の美化活動や環境保全活動を行うための、体制や仕組み等について検討を行う。

←参考①：荒川水辺サポーター

河川環境の維持・保全を推進する「荒川下流自然地管理アダプト制度」に基づき、民間団体等が環境保全活動を行っている。

5ちゃん RE VIR



宮城県 HP より

←参考②：宮城県スマイルリバープログラム

ボランティアで県管理河川の清掃・美化活動や草刈りなどを行う団体を「スマイルサポーター」として認定し、地元市町村・県とパートナーシップを組んで河川の“世話”をしていただく制度。

国・市・地域が連携して検討・実施に取り組んでいく